

妙高市立妙高中学校 学校だより 第 153 号 令和 7 年 9 月 26 日

携帯電話用 QR コード→



心を響き合わせる

校長 江口 賢哉

9月12日(金)に「妙陵体育祭」を実施しました。

今年度の体育祭は、本来 11 日(木) に予定していましたが、当日の朝まで降った雨の影響により、グラウンドコンディションが悪く、1日延期して 12 日(金) での実施となりました。

開会式では、生徒に向けて、TBSのドラマである日曜劇場「19番目のカルテ」第5話で、「人の心はどこにあると思う?」と問われた主人公の松本潤さんが相手とのやり取りの中で「それでも人は響き合う。(中略)あなたと私、その間に心は生まれると僕は思っています」と答えるシーンを取り上げ、「体育祭では、それぞれの持ち場の中で、ぜひ心を響き合わせてほしい」と話しました。

生徒たちは、競技種目への出場や役員としての運営を進める中で、一人ひとりが自身の 役割をしっかり果たしながら、競技にも力を尽くし、仲間とともに心を響き合わせながら 活動する姿を見せてくれました。その真剣に競技に取り組む表情、声を張り上げて応援す る声、仲間を励まし合う温かな姿から、そのすべてが大きな感動を生み出しました。

競技終了後、雨が降ってきたため、閉会式のみ体育館での実施となりましたが、終了後の晴々とした生徒の表情がとても印象的でした。

当日は、ご来賓の皆様、保護者の皆様・地域の皆様から、多くご来校いただき、ありが とうございました。生徒たちへの応援・声援は、生徒にとってとても力になったと思いま す。

行事を成功させるために、「心を響き合わせて活動する」には、仲間の表情を見ながら、 仲間と話し合いながら、仲間と協力して活動に取り組んでいく必要があります。

10月は、2日に新人各種大会(新人戦は今年度で終了となります)、15日~17日が2年生の修学旅行、25日が文化祭(会場:妙高ふれあいパーク体育館、妙高小と共に「ふるさとまつり」に参加して実施)を予定しています。それぞれの行事でも、仲間たちと心を響き合わせながら活動できるように支援していきます。

体育祭

【9月の活動から】

11日(木)に予定していた体 育祭は、12日(金)に延期しま したが、たくさんの保護者・地域 の皆さまからおいでいただき、あ りがとうございました。最後の種 目と閉会式に雨に降られました が、無事、全種目を実施すること ができました。























【「ALL妙高」あいさつ運動】

妙高市全域で例年実施している「秋のあいさつ運動」が9月30日まで行われています。コミュニケーションの基本である「あいさつ」の気運を高めることにより、友達、家族、地域との絆と連帯感を高め、明るく安全で住みよい街づくりを目指しています。



【輝く成果】

○第46回北信越中学校総合競技大会軟式野球競技

1回戦 対 長野東柳クラブ 11-0 コールド勝ち

2回戦 対 松任中学校 5-3 8回延長勝ち

3回戦 対 氷見北部中学校 3-4 8回延長惜敗 3位

○合同新人水泳大会 節水のため中止

- ○合同新人陸上競技大会 雨天のため中止
- ○妙高市環境衛生対策協議会 エコ標語の部 佳作 市村 龍人

【10月の予定】 ※社会情勢によって変更の場合があります。 10月より、月曜日に加えて木曜日も部活動休養日となります。

_			10 / 10 / 7 / 7 / 7	<u></u>			
日曜	給	部	行事等	日曜	給	部	行事等
1(水)	0	0	後期開始	16(木)	0	×	2年修学旅行②
2(木)	×	×	合同新人各種大会 (野球、バレー、卓球)	17(金)	0	0	2年修学旅行③ 1年 PTA 親子活動
3(金)	0	0	3年赤ちゃんふれあい体験	18(土)			
4 (土)				19(目)			
5(目)				20(月)	0	×	
6 (月)	0	×	2年GTEC (スコア型英語検定) 3年実力テスト	21(火)	0	0	
7 (火)	0	0	2年 GTEC、生徒朝会、2年歯科 検診、PTA 評議員会	22(水) 23(木)	00	O ×	
8(水)	0	0	妙陵、2年 GTEC	24(金)	0	0	短縮校時、前日リハーサル
9 (木)	0	×	地区駅伝大会	25(土)	×	×	妙陵文化祭 ※今年度は妙高小学校、ふれ合い祭りと合同開催 でふれあいパークにて実施
10(金)	0	0	2年GTEC	26(目)			
11(土)				27(月)			振替休業
12(日)				28(火)	0	0	教育相談①、生徒朝会
13(月)			スポーツの日	29(水)	0	0	教育相談②、短縮授業
14(火)	0	0	1年歯科検診、2年給食後放課	30(木)	0	×	教育相談③、短縮授業
15(水)	0	0	2年修学旅行①	31(金)	0	0	教育相談④、午後短縮授業

第1回学校評価の結果について ltkkかった結果 ltdenuwerake

		生徒アンケート	肯定評価 今年	肯定評価 去年
1		授業のねらいを理解し、協力して授業に取り組んでいる。	97%	93%
2	学	授業の内容が理解できている(授業が分かる)。	93%	89%
3	習	授業の約束をきちんと守っている。	96%	96%
4	^	タブレットのルールを守り、適切に活用している。	96%	95%
5	の取組	「あゆみ(私の家庭学習ノート)」に学習計画を記入している。	71%	77%
6		提出すべき課題に取り組み、きちんと提出している。	85%	87%
7		ほぼ毎日、目標時間以上、家庭で学習している。 (1年生70分、2年生、80分 3年生90分)	69%	77%
8	豊かな、	時と場に応じた言葉使いをし、相手の気持ちを考えて行動している。	97%	93%
9		自分から、相手をみて、伝わる声であいさつをしている。	96%	87%
10		学校でみんなと協力して活動することが楽しい。	96%	92%
11	心 と	進んで地域行事やボランティアに取り組んでいる。	99%	57%
12	社	清掃や生徒会活動では自分の役割を責任をもって果たしている。	72%	93%
13	会性	コンクールや検定へ積極的に挑戦している。	47%	60%
14	1生	先生方は、不安や悩みに真剣に対応してくれている。	96%	95%
15	健	早寝早起きを心がけ、朝食をしっかりと食べて登校している。	91%	91%
16	やかな	メディアコントロールにしっかりと取り組んでいる。 (平日1時間、休日3時間)	66%	72%
17	心	主体的に部活動や体力づくりに取り組んでいる。	91%	85%
18	身	健康や安全に気をつけて生活している。	90%	88%
19		将来の夢や目標をもっている。	72%	76%

生徒アンケートの結果を受けて

I 継続して高水準を保つこと

- ・1、2の授業のねらいや内容を理解できていると自己評価する生徒は多い傾向にある。
- 8について、2、3年生の肯定評価が、前年度よりも高かったので維持していく。
- ・10 の「協力が楽しい」について、前年度から小中で連携して取り組んでいる中1ギャップ 解消プログラムの成果や、人間関係のトラブル発生時に適切に対応した成果と考える。
- ・11 について、生徒会の呼びかけ等の効果が出て、評価が高まった。
- ・17 について、体力づくりへの関心が高まってきている。

Ⅱ 改善が必要なこと

- ・5、6の「あゆみ」や「課題の提出」について、肯定評価が下がってきている。 ⇒生徒会の学習スタイルの活動を継続する。個に応じた学習課題の提示を工夫する。
- ・7の「学習時間」について、1年生の家庭学習時間が低かった。
 - ⇒生徒会組織の「学習スタイル」と連携して、生徒間の呼びかけを強化して自主的な取組を促す。
- ・12の「生徒会活動や清掃活動」について、肯定評価が下がってきている。
 - ⇒生徒会活動と連携させ、全校体制で清掃マニュアル等を見直し、生徒がより主体的に活動でき るよう工夫する。
- ・13の「コンクール等への参加」について、肯定評価が下がってきている。
 - ⇒教科教育や各種教育の中でキャリア教育を一層意識して指導し、これらの活動への参加をキャ リアパスポートに記入できるように工夫する。

・16 の「メディアコントロール」については、「朝!元気スタート運動強調週間」に合わせ、生 徒会活動を含めた改善活動を行う。また、保健だより等を活用し、家庭からの協力を促す。

		保護者アンケート	肯定評価 今年	肯定評価 去年
1		学校は、学校の取組や生徒の様子について発信している。 (学校・学年・学級たより等)	93%	88%
2	の確	進路や学習について家庭で話題にしている。	79%	83%
3	育か成な	家庭における学習環境づくりに努めている。	72%	85%
4	学	確認テスト前に課題が終わっているか確認し、励ましている。	76%	67%
5	力	学校は、生徒の学力向上に取り組んでいる。	85%	82%
6	社豊	家庭内で挨拶し、適切な言葉遣いについて指導している。	93%	80%
7	会性の心	家庭での役割を決め、親子で仕事をしたり、手伝いをさせたりしている。	72%	70%
8	育と 成	よりよい生活ができるように、子どもと話し合っている。	75%	70%
9)3%	地域行事やボランティア活動に進んで参加するよう声がけ をしている。	70%	56%
10		学校は、生徒の不安や悩みに誠実に対応している。	72%	76%
11	育健成や	早寝・早起きの声がけをするとともに、朝食をとれる態勢をつくっている。	96%	86%
12	かなり	家庭内のルールを設け、メディア(テレビやパソコン、ゲーム等)の利用状況を把握している。	78%	67%
13	身 体	子どもの体力向上に協力している。	63%	64%
14	0	学校は、生徒の健康づくりや体力の向上に努めている。	82%	85%

保護者アンケートの結果を受けて

I 継続して高水準を保つこと

- ・4、5について、保護者の学習に対する関心は比較的高く、家庭内で学習に関する会話や励まし、環境づくりの向上に努めている肯定的な評価が見られる。また、学校は学力向上に取り組んでいるという点での肯定的な評価も高い。
- ・6について、1年生の肯定評価が100%など、挨拶や適切な言葉遣いの重要性を感じる保護者が増えている。
- ・11 について、朝食を摂れる態勢等、健康な生活習慣づくりに関心の高い家庭が増えている。

Ⅱ 改善が必要なこと

- ・10の「学校は、生徒の不安や悩みに誠実に対応している。」について、前年度よりも低かった。 ⇒不安や悩みを抱えているどの学年の生徒に対しても、共感的態度や傾聴を一層心がけながらよ り丁寧に対応し、保護者との連携を継続する。状況に応じて部活動顧問や委員会顧問等による
 - 教育相談を検討する。また、生徒への指導の経緯や状況を丁寧に伝えることを一層心掛ける。
- ・12 の「メディアの利用状況を把握」について、各学年 C・D 評価が 15~30%程度見られる。 ⇒生徒への対応と同様、生徒の自主的な取組を促しながら、家庭への協力も呼びかけていく。
- ・13の「子どもの体力向上」について否定的評価が全校で37%であった。
 - ⇒生活習慣(体力向上や健康づくりを含む)については、肥満等の支援が必要な個別の健康課題に応じて、市の管理栄養士と連携しながら健康相談を実施していく。